



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

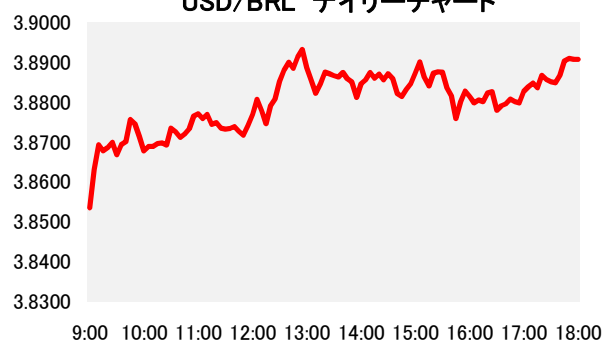
			12月7日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9070	3.9230	3.9000	3.8540	3.8910	+0.0370
	BRL/JPY	Spot	28.830	28.860	29.08	29.38	29.20	-0.18
	EUR/USD	Spot	1.1417	1.1357	1.1326	1.1367	1.1365	-0.0002
	USD/JPY	Spot	112.63	113.22	113.40	113.22	113.60	+0.38
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.486	6.480	6.479	6.453	6.434	-0.019
	Future	1Year(p.a.)	6.749	6.728	6.709	6.679	6.603	-0.076
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.592	3.553	3.540	3.543	3.558	+0.014
	USD	1Year(p.a.)	3.739	3.678	3.813	3.684	3.711	+0.028
株式	Bovespa指数		88,115.06	85,914.69	86,419.56	86,977.44	87,837.63	860.19
CDS	CDS Brazil 5y		207.72	209.07	207.88	202.55	199.35	-3.21
商品	CRB指数		184.152	181.647	181.802	181.200	183.028	+1.83

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

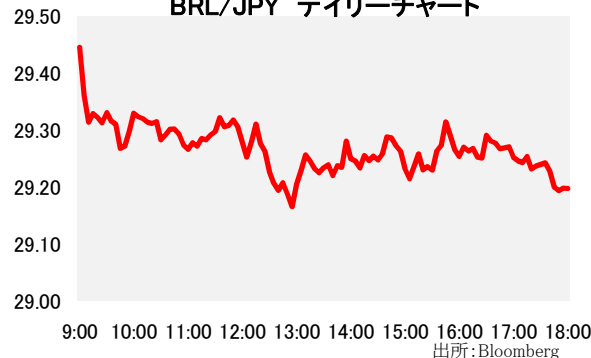
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
小売売上高(前月比)	0.0%	-0.4%	-1.3%
小売売上高(前年比)	2.5%	1.9%	0.1%
(米)新規失業保険申請件数	226k	206k	231k
(米)失業保険継続受給者数	1649k	1661k	1631k

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

ドラギECB総裁	景気へのリスク強まる、下方向へ向かいつつある
----------	------------------------

4. トピックス

- 本日のレアルは3.8550で寄り付き、直後に日中高値3.8530を付けた。昨日マーケット引け後に発表されたCOPOM声明文のハト派的な内容を受けてレアル先物金利が下落。朝方に発表された10月の伯小売売上高の結果が市場予想を下回ったことも嫌気されるとレアルは売られ、正午過ぎに日中安値3.8940を付けた。引けにかけては3.88台を中心に小動きに推移し、結局3.8910でクローズ。
- 本日、ECBは理事会で政策金利の据え置きと、量的緩和の年内終了を発表した。一方、保有債券の満期償還金の再投資に関しては、継続する旨を示した。
- 世界貿易機関(WTO)の最高裁に当たる上級委員会は、自国産の自動車や電子機器を優遇するブラジルの税制はWTO協定違反と結論付けた最終報告書をまとめたことが報じられた。但し、当報告書は30日以内にWTO加盟国で構成される紛争処理機関にて採択された後に正式に確定する。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。